



## 歴史未来館からのお知らせ

### 新年企画「干支 午・馬・ウマ展」

令和8年の「午年」にちなんで、笠松競馬場に関する特別展示を開催します。

**展示期間** 12月20日(土)～2月1日(日)

**時間** 午前9時～午後5時

**場所** 歴史未来館 **入館料** 無料

**休館日** 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日(日)～1月3日(土))

### 愛馬会 蹄鉄グッズ販売

(蹄鉄クリスマスリース・蹄鉄干支しめ縄飾り・干支柀飾り)

**販売開始日** 12月2日(火)

**販売場所** 歴史未来館 1階 ロビー

**価格** ・蹄鉄クリスマスリース 1,500円～  
・蹄鉄干支しめ縄飾り 1,500円～  
・蹄鉄干支柀飾り 2,000円～

※商品は随時入荷となります。ご予約は承れませんので、在庫状況などは電話でお問い合わせください。

〒歴史未来館 ☎388-0161



## コラム Column

## 見る!知る!学ぶ!れきみ通信

### 「干支 午・馬・ウマ展」～馬と共に歩む笠松町～

令和8年の干支は「午(うま)」。歴史未来館では例年、郷土玩具などを紹介していますが、今回は「午年」にふさわしく、笠松競馬場にゆかりのある特別展示を開催します。

笠松競馬といえば、数々の名馬と名騎手を世に送り出してきた地方競馬の名門であり、なかでも安藤勝己氏は、笠松が誇る傑出した騎手です。

1976年に笠松でデビューした安藤氏は、地方から中央競馬への移籍の道を切り拓いた先駆者であり、地方3,353勝、中央1,111勝という輝かしい記録を残しました。「アンカツ」の愛称で今でも多くのファンに親しまれています。

展示では、安藤氏が笠松時代に騎乗した「オグリキャップ」「ライデンリーダー」「レジェンドハンター」などの名馬たちを中心に、当時の貴重な写真や愛蔵品を通してその軌跡をたどります。誰もが熱狂した笠松競馬の黄金

期を感じていただけることでしょう。

また、11月5日には、地方競馬の年間最優秀馬に2度輝いたスプリント女王「ラブミーチャン」の銅像が役場庁舎前に完成。その可憐で力強い姿は、笠松町の新たなシンボルとして注目を集めています。本展でも、その活躍を紹介する写真やグッズを展示します。

さらに、笠松町も舞台となった、話題のアニメの関連グッズを特別展示し、「笠松=馬」というイメージを幅広い世代へ発信します。

一方、笠松競馬が直面する課題が放馬対策です。競馬の安全と持続的な運営を目指し、現在、厩舎の移転・集約が急ピッチで進められています。そうした笠松競馬の「これから」の姿も紹介します。

干支の「午」にちなむ今回の展示を通して、地域に息づく歴史と文化、そして馬とともに未来へ歩み続ける笠松町の今を、ぜひお楽しみください。